





お米を  
お花見  
と見せよう  
いいかも  
いんだ  
お花見  
と見せよう

「又御開き」  
何となく  
安心。  
ごほごほ  
に較正列し...



私  
お花見  
好んで  
神棚を  
御開きなら...

「神前開き」  
肝心な  
ははり  
始めが  
肝心な  
んです。



**お祀りする時期は？**  
●本来は神様が作った日に悪い日はありません。「真行」にあるように「天神地祇の直系の子孫である」との気持ちをお祀りのできる日を「一番いい日」として、家族そろってお祀りをさせてもらえばよいでしょう。お祀りする時間は、正午がふさわしいと言われています。なぜなら昔から、新たなスタートを切るという意味をこめてこの時間にお祀りをしてきたからです。



日吉の  
いい神聖な  
場所だ。  
どうだ、

「これは  
お花見  
の場所  
だ」



「神棚を置くのは、明まで  
清浄な場所がいいです。  
日吉が良い場所が南に  
向けてください。タンスの  
上に一枚板をしくか、白い布  
をかぶせた上に置いても  
かまいません。」



「お花見  
の場所  
だ」  
神棚  
心



**お祀りする場所は？**  
●神聖な場所に祀ります。北半球に住む日本人には、南向きか東向きがふさわしいでしょう。床の間は、一番大事なお客さんを通す部屋。ですので家の中の綺麗で神聖な場所に祀る形として、昔は床の間に御神前を祀る形が多かったのです。お客さんよりさらに大事な神様を祀るのだという、神聖な気持ちで忘れずにしてほしいのです。アパートや貸家など、住宅事情によつては、タンスの上に綺麗な白布をしいたその上や磨き上げた一枚板を用いて祀ったりしてもよいでしょう。